

公益社団法人 日本経営工学会
第 31 期第 3 回理事会議事録

日 時：平成 23 年 11 月 11 日（金）18:00～20:00

場 所：岩手県民情報交流センター（アイーナ）7F 岩手県立大学アイーナキャンパス学習室 5

出席者：(理事) 大成 尚, 河野宏和, 石井和克, 開沼泰隆, 葛山康典, 後藤正幸, 高橋勝彦,
中島健一, 中出康一 (監事) 玉木欽也

欠席者：(理事) 荒井良尚, 斎藤 文, 水山 元, 吉本一穂 (監事) 松川弘明

議決事項

1. 議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料:3-1) 第 31 期第 2 回理事会議事録（案）が提示され、議事録として全会一致で承認された。

2. 入退会承認の件

庶務担当理事より、(資料:3-2) に基づき、正会員 5 名の入会、正会員 1 名の退会および学生会員 2 名の入会の説明があり、全会一致で承認された。

3. その他

なし

協議事項

1. 大会規則について

大会担当理事より、(資料:3-3) に基づき、定款変更に伴う大会規則の変更に向け、大会規則 JS1-08-1 第 7 条第 3 項の改訂の是非（非会員のみ、および、学生会員のみを発表を今後どう扱うか）について説明がなされた。過去の実績を勘案しながら、セッションの構成の見直し、発表受理の仕組みの確立を考慮しながら大会委員会にて継続協議することとなった。

2. 他団体の共催について

国際渉外担当理事より、(資料:3-4) に基づき、安全工学シンポジウム 2011 および平成 24 年度工学教育連合講演会への共催について、説明がなされ、全会一致で承認された。

3. 英文ホームページについて

庶務担当理事より、(資料:3-5) に基づき、英文ホームページ案が提示され、ネイティブチェックに関する確認がなされ、承認された。

4. バックナンバーについて

庶務担当理事より、(資料:3-6) に基づき、バックナンバーに関しての調査結果が説明され、バックナンバーの保管状況が確認された。過剰在庫が問題となり、新規保管方法や販売方法について、論文誌編集担当理事ならびに経営システム誌編集担当理事が発行部数と照合しながら検討することになった。

5. その他

研究担当理事より、前回会議にて課題となった研究部門のテーマについて、協議の要請があった。会員専門分野のキーワードやテーマの分布を明らかにした上で、各研究部門の課題を会長と研究担当

理事等から構成されるワーキンググループにて検討し、次回以降の理事会に諮ることになった。

報告事項

1. 論文誌編集担当理事より、(資料:3-7) に基づき、Engineering Index（エルゼビア）への掲載を更新した旨、報告がなされた。"Web of Science"への登録の必要性が具申され、論文誌編集担当理事から次回会議にて検討結果が報告されることになった。

2. 大会担当理事より、(資料:3-8) に基づき、今後の大会予定について説明がなされた。

3. 財務担当理事より、(資料:3-9) に基づき、貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表および財産目録が提示され、平成 23 年度中間報告がなされた。公益事業 50%以上が公益法人への要求事項であることから、従来からの事務経費が大半の費用構造を改善する必要性が報告され、来年度予算作成までに要求事項を実現する方策を確定することが確認された。

4. 国際渉外担当理事より、(資料:3-10) に基づき、協賛承認事項および対外学協会連携について、説明がなされた。

5. 人材育成・企画・行事担当理事より、(資料:3-11) 人材育成、企画・行事委員会 第 4 回議事録が提示され、今後のインターンシップの主旨を検討し、次回以降の理事会にて報告することが確認された。

6. 論文誌編集担当理事より、(資料:3-12) に基づき、掲載料・別刷代請求および支払い状況が報告された。

7. その他

会長より、資料「(公社) 経営工学会と日本 IE 協会の連携研究活動（案）」に基づき、サービス産業への IE 活用拡大および産学連携プログラムの企画に関して、会長と人材育成・企画・行事担当理事とで検討することが報告された。

※次回第 31 期第 4 回理事会は、平成 24 年 1 月 21 日（土）早稲田大学理工学術院 62W 号館 1F 中会議室にて 15：00～18：00 で開催する。

議 長 大成 尚 印

議事録署名人 玉木 欽也 印